

令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

日時 令和6年10月24日 14:00～15:00

場所 水沢高校 大会議室

1 開会

2 校長あいさつ

第2回は学校の各分掌における反省会の資料を元に、どのような目標を立ててどのような成果を出しているか等について把握していただきましてご意見をいただきたい。

5月の第1回運営協議会以降の学校の状況についてお話します。学習環境ですが、今年度から一般に言われております衣替えの概念を少し変えて、水高クールビズとし9月の中旬までは学校指定のポロシャツ・ハーフパンツによる登下校を許可した。現在は10月31日までノーネクタイのノーリボン、ジャケットなしを許可している。今年の夏もかなり暑い夏が続きましたが、冷房と併用しながら学習環境を整えた。

トイレの洋式化については一階男子トイレが終了した。次は2・3階の予定であり、引き続き県に要望しながら予算交渉をしていきたい。

次に生徒にかかる行事ですが、文化祭とか文化部の定期演奏会とか、運動会・クラスマッチ、野球応援、飛龍祭、芸術鑑賞と計画通り実施することができた。

また2年生の修学旅行も12月10日から3泊4日で大阪・奈良・京都方面に出かける予定。

学習関連の行事ですが、各学年での進路講演会とか、今年から始まったデータサイエンスに係る研修会、理数科対象の大学出前授業など予定通り実施した。

今の時期、3年生の大学の推薦入試の時期であり、その対応で全教員が割当ての生徒に対して、昼休みとか放課後を使って個別指導を行っている。新人戦の県大会とか高文連の県予選とか、他の業務と並行して行っておりますので、先生方は超過勤務を余儀なくされることがあり、多忙な時期である。

先生方の人事については、去年は定年延長制度初年度ということで定年退職者はおりませんでした。今年度は61歳定年の方が7名いる。

水沢高校発の授業改革に関するイベントを行う予定である。先生が行う授業を、先生だけでなく生徒と一緒に考えるグループセッションというのがメインであり、今までにこういう研修会はなかった。生徒と外部からの参加者、本校の参加者を含めまして100名を超える規模の学習イベントというのを計画している。

最後に、学校としましては委員の皆様方のご意見ご助言を学校の運営に生かしていきたいと考えているので、遠慮なく発言してほしい。

3 協議（東会長が議長）

ア 学校の業務内容について

（反省会議資料を基に各課主任より説明）

【副校長】総務課について

PTA 総会、学年 PTA の時間について、何時から始めたら人が集まるかということが話題になる。また、帰りの迎えの車が大変多くなっているため、午後 4 時ぐらいにすると、大渋滞になることもある。今年の PTA 総会は午後 3 時開始、学年 PTA は午後 4 時受付になっていた。検討しているところである。

【教務主任】

学力向上について、生徒・教員ともに教育も漫然としてならないように、授業の目的や評価の方針を提示しながらより良い授業の実施を中間反省会で共通理解した。

生徒の実態を把握する目的で、学習実態調査や外部模試のデータを提携させて、生徒の事態を把握しそれに対して学年で対策する取り組みをしている。

開かれた学校づくりのところは学校公開であるとか、普段から授業に参加していただけるよう呼びかけをしている。

【生徒指導主事】

応援歌練習はリーダーがなかなか出てこなかった。現在 2 名である。今年度から朝の練習を無くした。放課後の練習も 7 校時の時間帯で行った。飛龍祭は若干、自分たちだけで盛り上がる雰囲気があった。おもてなしの精神のような日本人の良さを伝えていくことが課題。

問題行動等は特にはない。いじめについては 4 件審議して 1 件認定した。

交通安全について、ヘルメットを自転車通学の条件とすることを生徒と協議しながら進めていく。現在のところ 10 人ぐらいしか実際には使用していない。自宅から最寄り駅、水沢駅から学校へと自転車 2 台使用している場合、ヘルメットも 2 つ必要なのかということもある。義務化はしていない。

クールビズでは、学校指定の体育用のポロシャツ（ヨネックスのワンポイントの入ったもの）だけ許可してきたが、汗をかいたり、洗濯が大変なので、白と紺の無地のポロシャツを許可した。

【進路指導主事】

コロナの時期はオープンキャンパスに参加できず、WEB 上での参加であった。今年ぐらいから各大学が対面での通常のオープンキャンパスに戻ってきている。1～3 年生ともかなりの人数が参加した。東北大学のオープンキャンパスにはバス 4 台で参加した。

推薦総合型選抜には 90 名ほど希望した。昨年よりは 20 名ほど少ない。私立大学中心に年内入試が多くなった。11 月 1 日から推薦の出願が始まる。

学力向上対策ですが、基本的に各自で勉強することになっている。課外もするが、自分でやるということをもっと重視している。課外は参加希望をとって行った。8 割以上の生徒が参加している。塾に行きたいとか、自分で勉強したいということは認めている。本校の課外は放課後の 45 分間だけである。各自に任せる部分が多い。自分で学習する体制をさらに作っていきたい。

先進校訪問も再開した。今年は弘前高校、五所川原高校へ視察してきた。

【副校長】保健厚生課について

健康診断に関連して、必要な生徒に受診勧告を行っているが、数名からの受診報告を受け取っていない現状がある。奥州市の医療費が無償化になっているので、是非、受診してほしい。

【副校長】図書課について

レイアウトを変更して明るく入りやすい図書館になった。大シルクロード展を見に行く独自企画も行った。

本の貸し出し以外の企画にも取り組んでいるところ。

【副校長】情報広報課について

情報発信を求められる時代になった。より情報を発信していきます。note に情報を発信していきます。note はホームページよりも更新の頻度が高くなっているのでご覧ください。

第1回の運営協議会の時に、DX ハイスクールの事業について説明した。文科省から来た予算を使って機材を揃えてデジタル人材の育成に励むわけですが、実は機材が入手しにくくなっている。今後、機材をそろえて活用したい。

【副校長】普通科探究課について

「総合的な探究の時間」は2年生が毎週2時間で実施している。まだまだ改善の余地がある。

【委員】

階段に探究活動の反省が貼ってあった。良く取り組んでいるが、意見交換が少なかったとある。その点を支援されると生徒の達成感が出るのでは。

【副校長】

調べ学習で手一杯になっている感はある。そこで終わらないようにしたい。

【委員】

社会人に向けて大切なことと思うのでよろしくお願いします。

【校長】

理数科の探究は歴史もあり、SSH でもあったのでノウハウがあり、順調にやっている。

普通科の探究は実はうまくいってない。県によっては学校単位とか学年単位とかで実施している。本校は担当課を作って動き始めたが、理数科に比べて活性化していない。山形県がお金を出して探究科を作っている。山形県のトップの進学校の山形東高校も探究科を作り人気となった。そこで今年、教員を2人山形東高校に派遣したところ。

【委員】

いじめ対策について、解決状況はどうなっているか。

【副校長】

今のところいじめは止まっている。

【委員】

高校のいじめ対策検討委員会等、チーム学校の形で進めていただきたい。

いじめの相談は少ないが、いじめをした側の生徒の話を聞いてあげる必要がある。教育相談の先生と連携してください。

【校長】

いじめ認定していないのは、相手がわからない場合、見守りはするが、認定はできなかった。

いじめと疑われるときは校長、副校長が入るいじめ対策委員会をすぐ開き、メンバーで確認して認定する。委員会では今後の指導をどうするか等検討し、対応している。

【委員】

制服について、生徒はどのように認識しているか。

応援リーダーが少ないということの要因とどうやっていくか。強制的にはできないするならばこれは自発的な行為にゆだねるほかないということなのか。

【校長】

クールビズについては、生徒が着るものなので学校だけでは決めていない。生徒はポロシャツとハーフパンツが大好きであるが、将来、世の中で大人になってハーフパンツとポロシャツで朝から晩まで暮らすことはいかがなものかと考えている。先生方のクールビズ期間である5月1日から10月31日までの期間は先生方も生徒もノーネクタイ、ノージャケットで良しとした。真夏の期間は、特別教室とか冷房が入っていないところもあるので、ポロシャツ・ハーフパンツを許可した。1着しかないご家庭もあり、洗濯も大変であること、あるいはアトピー性皮膚炎の生徒もいるでしょから、着替えも必要と考えた。生徒にアンケートも取って、無地の白と紺のポロシャツを許可することにした。ワンポイントについても協議して、つけないものとした。決定時期が遅かったため、現在無地のポロシャツを着ている生徒はいない。

制服については、自由に組み合わせ可能なので女子でスラックスの生徒も結構いる。寒くなってくるともう少し増えるかもしれない。男子でスカートもルール上良いが、今はない。生徒は気に入っているようだが、着こなしについて、ネクタイやリボン、スカートにいろいろご指摘を受けるところある。厳しくは指導せずとも、しっかりしようと話はしている。

【生徒指導主事】

昔は放課後に屋上で応援団リーダーを出すまでみんなで話し合った時代もあった。今は自主的活動になっている。実際、全くいなかったときもある。出ない理由はバンカラというより、人前に立つことに抵抗がある生徒が増えたこと。また、リーダーの養成練習がけっこうきついものがある。この点は、もう少し改善して一人でも多くの人が前に立てるようにしたい。水高の伝統を引き継いでいってほしい。

【委員】

服装については、高校生の子供たちが関わって決めてきたことだということも尊重したいという一方で、大人になってからということも考える必要がある。難しいところもあると思いますが、よろしくお願

します。

応援団については、当時は何としてもクラスから出さないとならないということがあった。これからの時代を考えると団長、副団長ではなく、みんなでやろうという方向性もある。新しい水沢高校の応援団を考えてほしい。

【委員】

語句でわからないところを教えてください。「デジ楽」とは何か。「スタサブ」とは何か。

2学年について、数名ではあるが登校がままならない生徒がいるとのこと、3学年について、目標を見失い学びに向き合えない生徒も複数名いるとある。フォローアップしていると思うが現状など教えてください。

【進路指導主事】

「デジ楽」は採点がパソコン上でできるソフトのことである。解答用紙の型があり、その中であれば記述の問題をスキャナーで読み込んでデータにしたものをパソコンの画面上で映し出して採点する。集計も行えるので採点を補助するものである。多くの先生に使ってもらっている。

「スタサブ」はリクルートのスタディサプリという動画を使ったクラウド型学習サービスである。各自のペースに合わせて進める学習ツールということになる。教材提供サービスではあるが、機能のひとつとして出席とか欠席の報告ができる。

【校長】

各学年で業者を選んでもらっている。1年生と3年生が「スタディサプリ」、2年生はベネッセの「クラッシー」を利用している。家で短い動画を見て、それによって問題配信がされて問題を解く。発展的にもっと進みたいという生徒はどんどん進めますし、中学校の低学年ぐらいの問題に戻ってできるというシステムである。補助的な機能で欠席連絡ができたりするもの。

【副校長】

不登校についてですが、県内を見てもゼロという学校はありません。原因は様々で、体調が悪い生徒もいますし、目標を見失って悩んでる生徒もいます。学校としては3日連続して休んだら家庭訪問をするようにしている。スクールカウンセラーが月に数回来るので、カウンセラーをうまく活用している。親も相談可である。

【委員】

PTAの立場から飛龍祭での係わり方についてご意見いただきたい。PTAとしては水分補給の意味合いを兼ねて無料休憩所を開設した。飲食スペースとして利用される方がいて、休憩所イコール飲食スペースではない考えだったのだが、飲食される方多かった。飲食禁止までは厳しいと思うので、スペースの拡充をお願いできればいいのかと考えている。

それと、ヘルメットの着用を娘と話し合ったことがある。努力義務なので親としては着用させたい。今の努力義務という段階の中では生徒会主導のほうがいいかと思う。PTAからも事故事例とか情報提

供をする
こともできる。

【校長】

PTAの休憩所ですが、台風の時期で、露店系の出し物を2日前に協議して全部校内に入れた。結果的に外で食べる場所もなく、休憩所に集まってしまったのではないかと。

ヘルメットについては、学校でも調査している。着用は10人程度。昨日、生徒総会の時に校長挨拶で時間をかけてヘルメット着用について、交通安全委員会で少し動くのはどうかという話をした。合わせて道交法が変わって11月1日からながら運転の罰則が入った点についても話した。

ヘルメットはなかなか強制ができないところがあり、生徒に自主性を持ってほしいところである。着用している生徒は増えてきている。

岩手県内の高校で義務化しているの24校である。高校間で情報交換をしたい。

生徒指導課ではヘルメットのデザインは問わないことにしている。安全マークがついていれば良い。

【委員】

これは家庭のことでもある。PTA総会等で発信することも良いのではないかと。

イ 学習実態調査について

【教務主任】

今年の1年生は学習時間が少ない。例年に比べても少ない。原因の一つとして、活発な反面、自分の腑に落ちないことは取り組まない傾向がある。家庭学習の開始時間が21時からが多い。1年生で運動部に入っている生徒は181名。2年生より50名多い。練習が終わって帰って、家庭学習が始まる時間が遅い。物理的に時間を取ることが難しくなっている。

英語の学習時間が少ない。英語科によると最低限の課題で行っているとのこと。それ以外については各自で取り組むようにしている。これがどういう成果につながるか検証中。生徒主体の取組を始めている。

1年生の数学は授業進度についていけない生徒の割合が高い。進度は例年と同じであるので、そのように感じる理由を検証中である。

【委員】

総括的なことである。水高は文武両道を推進し、自由度の高い学校だった。今も続いていることと思う。健康な心身で学力も高いことが保護者も我々も望むこと。今の子供はコロナ禍で小中学校を経験し、多様性が尊重される時代を過ごしたので、学校側の指導は本当に大変だと思う。水沢高校ならではの特徴的な指導に頑張っていたきたい。

【委員】

運動部の部員が増えた要因は何か

【生徒指導課長】

中学校にない部が多くあり、自分の能力を発揮できる部が多い。女子サッカーには経験がない生徒が多く入った。新しい分野に挑戦する傾向がある。

【委員】

中学校の側から感想ですが、部活動に入らなくてもよくなった最初の生徒が今の高1である。今は胆江地区では、15%は入部していない。何もしていない生徒もいる。この生徒たちが高校に上がって何かするかということは考えにくい。高校側でもこれから部員数の問題は難しくなるだろう。

探究の授業の意見交換については、GIGA スクール構想で一人一台端末が定着したのが今の高1であるので使いこなせるし、意見交換もできる。やらせれば必ずできるはず。今は個別最適な学びと協働的な学びをすることになっているので、タブレットを使ってそれぞれの進捗で学習しながら、話し合いをしていく。中学校の授業ではこれを意識してやっている。高校でもぜひやらせてほしい。

探究と大学入試の関係を教えてほしい。国がどういう生徒を求めているのか、中学校ではわかりにくい。国が求める人材の変化等あれば教えてください。

【進路指導主事】

探究を利用した入試があるが、探究ですごい成果を上げて入学できる大学は難関大学である。ただし、学力試験もあるので探究だけで入学できるわけではない。面接等では探究の内容について聞くことはある。それが合否にどの程度つながっているかは不明である。探究の学びが大学での学びに繋がるものであるが、入試にそれほどつながっているわけではない。

4 その他

【委員】

(警察より)管内の情勢について。今年に入ってから自転車の盗難被害が多い。特に水沢駅西口駐輪場での被害が多い。無施錠での被害が多い。生徒に注意喚起してほしい。

闇バイトの関連のことに誘導されて事件に加担する中高生の事例がある。学校SNSの使い方等を含め指導してほしい。

【副校長】

第3回は2月17日(月)となっている。後ほど案内を差し上げます。

【校長】

ご意見、ご質問ありがとうございます。それぞれの分野の専門家から我々の業務に対してご意見を頂くことは、非常に勉強になることであり、改善するきっかけとなる。今後も気づいたことがあればお声かけください。